

平成28年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

社会福祉施設を取り巻く環境の変化

超少子高齢社会の進展

福祉サービス需要の急激な増加

核家族化の進展
ライフスタイルの変化

社会福祉ニーズの多様化

民間企業・団体等の福祉参入

福祉サービス提供主体の多様化

待機高齢者・待機児童の増加

施設・福祉人材の不足

国家財政の逼迫

社会保障給付費の削減
施設整備補助金の削減

国の社会福祉施策の転換

福祉の実施主体を国から地域へ
施設から在宅へ（地域包括ケアシステム）

1. 平成28年度 事業計画における主要な取り組み

(1) 経営基盤の強化とサービスの質の向上

(2) 支部、赤十字病院と連携した講習普及

(3) ボランティア及び企業とのパートナーシップの推進

(4) 地域貢献活動の推進

(5) 災害時の体制整備



(1) 経営基盤の強化とサービスの質の向上

【効率的な運営】

- ・経営分析
- ・経費削減
- ・物品共同購入の推進
- ・ボランティアとの協働



老人福祉施設の
合同研修会の実施

【人材の確保】

- ・実習生の受入れ
- ・研修等の施設間連携
- ・日赤内及び他法人との採用情報の共有



専門学校生の実習受入れ

【良質なサービス提供】

- ・職員研修の充実
- ・各種の加算取得
- ・地域貢献活動の実施



赤十字病院看護師による
専門研修の実施

(2) 支部、赤十字病院と連携した講習普及

施設の特性を活かした講習事業

児童福祉施設 ⇒ 幼児安全法
 障害者支援施設 ⇒ 救急法
 老人福祉施設 ⇒ 健康生活支援講習

平成28年度	実施回数	受講者数
救急法	30	904
幼児安全法	47	365
健康生活支援講習	3	61



県内乳児院の職員を対象とした
 幼児安全法講習の実施
 (茨城県支部乳児院)



JRC加盟校の中学生を対象とした
 救急法講習の実施
 (安謝福祉複合施設)



近隣住民を対象とした
 健康生活支援講習の実施
 (特別養護老人ホーム豊寿園)

乳幼児の事故予防
 病気や怪我の応急手当の普及

救命手当・応急手当の普及
 災害時の心得等の普及

高齢者の健康増進
 認知症に理解ある街づくり

(3) ボランティア及び企業とのパートナーシップの推進

 日本赤十字社 Japanese Red Cross Society **福祉ボランティア情報**
@日赤安謝福祉複合施設（沖縄県那覇市）

 「日赤安謝福祉複合施設」のご紹介

当施設は、特別養護老人ホームやデイサービスセンターを中心に、老人憩の家、児童館などが併設する複合型の施設です。

世代間・施設間・地域間交流を図り、ご利用者・ご家族・地域の相互交流に努めることを基本方針として、一年を通じて様々な交流行事を行っています！ふれあい餅つき大会、戦争体験者から子ども連への平和学習会などの行事から、毎月の定期的な施設間の交流まで、0歳から107歳まで活躍が実現しています！

 当施設の代表

地域の皆さんをはじめ、併設の児童館など、多様な年代の方ボランティアさんの参加を、

ご利用者の整髪

活動時間：10:30～11:30
活動頻度：週2回程度

入浴後のご利用者の整髪（ドライヤーがけ）を行いながら、ご利用者との

企業の皆さまと進める社会課題の解決に向けた寄付メニューのご提案

— 「子どもたちに豊かな体験を！」プログラム —








活動中のボランティアをホームページで紹介



習字のボランティア
(特別養護老人ホーム大寿園)



近隣中学生の職場体験
(富山県立乳児院)

活動人数 (延数)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	47,112人	50,396人	50,490人

パートナーシップ推進部との連携による寄付メニューの提案



建機イベント招待: 日本キャタピラー
(赤十字子供の家)



お茶会の開催: ANA
(特別養護老人ホームやすらぎの郷)

支援企業	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	7社	7社	9社

(4) 地域貢献活動の推進

子育て支援

- ・育児相談・育児サロン
- ・保育体験イベント
- ・近隣小中学生の職場体験受入れ
- ・地域のクリーン活動 他



育児サロン(松江赤十字乳児院)

高齢者支援

- ・介護予防体験教室
- ・認知症サポーター養成講座
- ・介護ミニセミナー
- ・地域交流運動会 他



介護予防体験教室(総合福祉センター)

障がい者支援

- ・子育て支援ボランティア養成講座
- ・防災力向上セミナー
- ・近隣小中学生の職場体験受入れ
- ・地域イベントの開催 他



地域イベントの開催(ひのみね総合療育センター)

秋田県里親シンポジウムの開催 ～地域で見守る、里親支援～

主催：秋田赤十字乳児院（県内初の「里親支援機関」）



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田県里親シンポジウム

～地域で見守る、里親支援～

とき・ところ
平成 28 年
10 月 15 日 (土)
13 時～16 時
さきがけホール

定員 200名
入場無料

基調講演 13:10～14:10
シンポジウム 14:30～16:00

「神奈川県における里親支援について」
社団法人 唐池学園
ドルカスベビーホーム /
里親センター「ひこばえ」
里親支援専門相談員
矢内 陽子 氏

「今後の里親支援のあり方」
《シンポジスト》
秋田県子育て支援課 佐藤 寧 氏
秋田県中央児童相談所 小野 誠 氏
秋田県里親連合会 富樫 美和子 氏
秋田赤十字乳児院 石川 明子 氏
秋田赤十字乳児院 京極 芳久 氏

《コーディネーター》
秋田赤十字乳児院 保坂 美貴子 氏
《助言者》
ドルカスベビーホーム 矢内 陽子 氏

●お申込み
平成28年9月30日まで 電話、FAXにより
秋田赤十字乳児院へ
電話での申込み（平日9:00～17:00）
FAXの場合は、裏面 申込用紙にてお申込みください。

●事前の申込みがなくても、当日の参加も可能です。
ただし、定員に達している場合は、お断りすることもあります。

主 催 秋田赤十字乳児院（秋田県里親支援機関）
後 援 秋田県、秋田県社会福祉協議会、東北・北海道ブロック乳児院協議会、秋田県里親連合会

●お問い合わせ
秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760 FAX 018-884-1762



「ひだまりのいえ」
秋田赤十字乳児院が
開設した里親支援の
主催会場

- ・里親研修
- ・子育て相談
- ・幼児安全法
等 実施



(5) 災害時の体制整備

事業継続計画
(BCP)の策定

災害対応設備・
備品等の整備

定期的な訓練
の実施

BCP（事業継続計画）の考え方に基づく

災害対応計画書（災害対応マニュアル）



災害時（地震）アクションカード
介護職、避難誘導班（避難誘導）
① 地震発生

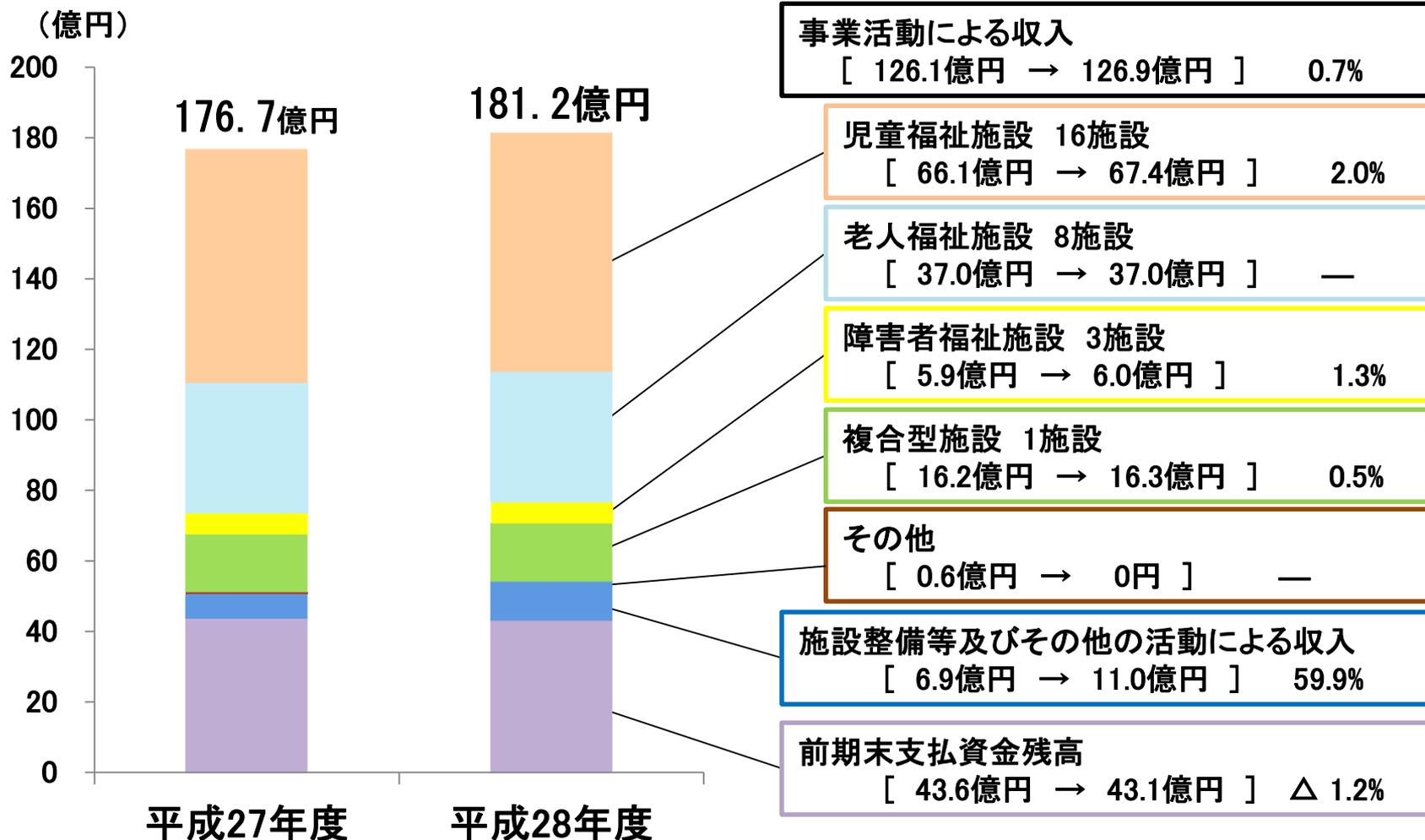
介護職員		《場所》	
《避難誘導》		1階特設	
<p>●利用者・自身の身の安全を確保。</p> <p>●危険な場所（窓の近く等）にいる場所へ誘導。</p> <p>●怪我などをした者がいないか確認</p> <p>●職員に応援を依頼。</p>			
<p>○重要連絡先</p> <p>・園長 携帯：090-9604-8377-</p> <p>・介護課長 携帯：080-1770-0460-</p> <p>・医務課長 携帯：090-5293-0035-</p> <p>・事務課長 携帯：090-1190-4266-</p>			
介護職員		《場所》	
《避難誘導》		特設棟 ↓ 安全な避難場所	
<p>●避難経路を確認。</p> <p>●建物、機器類に破損等ないか確認。</p> <p>●別紙4「緊急避難経路図」、別紙5「避難所」に従い、利用者を避難。↓</p> <p><火災></p> <p>●火災場所を大声で知らせる。</p> <p>●初期消火。</p> <p>●安全なルートからの避難を誘導。</p> <p>●利用者・職員の安否確認。</p>			



今後の方向性・課題（平成29年度の施策）

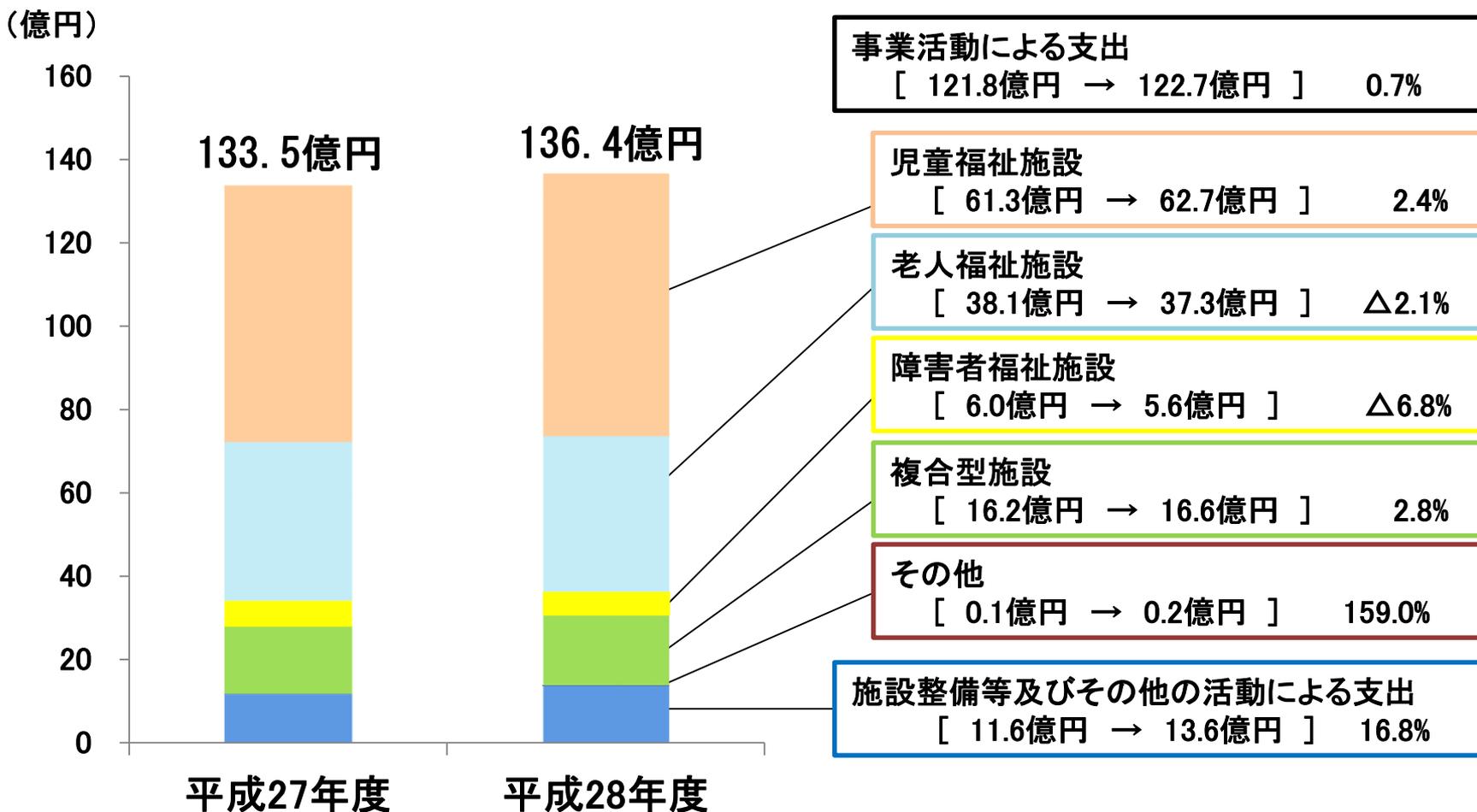
項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
経営基盤の強化とサービスの質の向上	安定した施設運営の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・物品共同購入の推進 ・実習生の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営分析及び経営管理体制の強化
支部、赤十字病院と連携した講習普及	日赤の特色を活かした施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・講習事業の推進 ・専門研修への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習普及による地域への支援強化
ボランティア及び企業とのパートナーシップの推進	施設運営の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の紹介 ・企業への寄付メニューの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア及び地元企業等との地域ネットワーク作りの推進
地域貢献活動の推進	地域に信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特色を活かした地域貢献活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への福祉の普及啓発の強化
災害時の体制整備	施設の災害対応能力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP（事業継続計画）の策定 ・地域住民受入れのための設備整備 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄資材、物資の充実 ・職員のスキルアップ

2. 社会福祉施設特別会計歳入決算のあらまし



	平成27年度	平成28年度	増減額	増減率
収入合計	176.7億円	181.2億円	4.5億円	2.5%

3. 社会福祉施設特別会計歳出決算のあらまし



	平成27年度	平成28年度	増減額	増減率
支出合計	133.5億円	136.4億円	2.9億円	2.1%
収入支出差引額	43.1億円	44.7億円	1.6億円	